

所属校種	校内研修（教科部会や学年会でも可）としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。
4. 特別支援学校	ICT活用の授業実践を「実践シート」に記入してもらい、学年会等で共有した。特に中学部では、そのシートを題材にしながらICT実践について意見を広く述べ合い、有効性についても検証した。2学期以降、毎月1回、GIGA校内研修として集まった実践シートを使いながら、実践共有やアプリの活用実習を行っていく予定である。
4. 特別支援学校	授業や校務で使えるアプリケーションソフトの紹介をした。セルフサービスに入っているアプリの使い方等も紹介したところ、自分で使ってみようという教員が増えた。
4. 特別支援学校	iPadの基本アプリを使った活用方法を学び、手軽に使える意識づけとなった。Google Classroomと、ロイロノート・スクールでクラスを作成する研修を行った。実際に操作をすることで、実際に活用につなげていくきっかけになった。
4. 特別支援学校	若プロで、ひと月ごとに1人1台端末の使用を盛り込んだ授業研究を行う計画を立てた。各授業において、教科の学習目標だけではなく「効果的なICT活用」についての視点も盛り込んで指導案の検討や研究授業を行った。授業整理会で、視点を絞って話し合うことでICT活用について、効果的な使い方や、視覚障害に応じたアプリの使用などについても話し合った。児童生徒主体での活用は難しいながらも、授業で活用する頻度が増え、児童生徒の意欲につながっていると実感した。
4. 特別支援学校	月に1回、ミニ研修会を開いている。参加希望者の学びたいことを事前に吸い上げ、それに応える形で会を持った。校内のICTに堪能な教員を講師として、実際に端末を操作しての演習を行なっている。研修で扱った内容を記録して、全校のTeamsに掲載し、参加出来なかった教員も確認できるようにしている。また、演習では、教師役と生徒役に分かれて行なったことで、子どもからの視点で授業を考えるきっかけにもなったとの声も聞かれた。
4. 特別支援学校	学校全体や各学部でICT研修を数回開催し、授業や取り組み事例の紹介や共有だけではなく、個々の教員が実際に児童生徒と同じタブレット端末(やアプリケーション)を使った体験や演習、デジタル教材づくりを行うことで、授業のイメージやアイデアを構想しやすくなってきている。「やってみよう」「使ってみよう(使わせてみよう)」という段階から、実際に教科のねらいやより深い学びにせまれるよう、効果的にICTを活用しようという段階に意識が向上してきている教員も増えてきた。
4. 特別支援学校	発言しやすいなど主体的になるので、小グループでの事例報告会や研修会を行うことにした。
4. 特別支援学校	効率化のためのPCの使い方を発信したところ、わからない、すぐにできない、という意見があったが、そういう話を聞きなかったという意見もあった。
4. 特別支援学校	GIGAに関して情報を共有できる場として「Teams」のチャンネルを立ち上げ、自由に投稿、共有できる枠を作れたことが良かったです。いくつかの質問や情報共有の場として活用できました。そして1学期に作成した「タブレット活用実践の記録」で活用したICT教材のうち共有可能な教材が少しずつ集まっており、今後浸透すれば一人が疑問に抱いたことや活用事例を共有できるツールとしての可能性を感じました。 先生方が個々に疑問に思っていることへのアンケートをもとに研修内容を設定したことで、ニーズや習熟度に合わせた研修内容を作成することができました。